

私たちの活動

私たち相談員は、仮設住宅にお住まいの「死にたいほどの苦悩を抱えた方の孤独による苦悩」が、少しでも和らぐようと訪問活動を続けている。

仮設住宅にお住まいの方は、進まない復興へのいら立ち、失われたものへの戸惑い、さまざまな思いを抱えて暮らされている。時には、どうすることもできない問題が突きつけられることもある。

「復興に向けての一步を」「失ったものを取り戻す」。それができるのであれば、そのお手伝いもできるだろう。しかし、私たち相談員が関わろうとしているのは、その一步をも踏み出せない方、取り戻すことのできないものを失った方である。苦

悩のあまり、「死んだほうがマシだ」「どこかに消えてしまいたい」。そんな声を聞かせていただくこともある。

そんな方の気持ちを、一つ一つ丁寧に受け取ることに専念していると、いつしかその方の気持ちがずっ



と軽くなっていると感ずることがある。

「こうして話を聴いてくれる人がいるだけでもうれしい」「意外と仮設もいいものだね」という言葉と少し安心したような表情から、気持ちが和らいだことが伝わってくる。状況は何も変わっていないはずなのに、そばに居て気持ちを受け取ることが、その方の支えになっていることを教えられる。

今も、多くの方が仮設住宅で押しつぶされそうな苦悩を孤独とともに抱えている。一人でも多くの方が心和やかに過ごせるように、訪問活動の輪が広がり、未長く継続していくことを心から願う。【おわり】

(安部智海)